

ベビーシッターと保育園の選択制の提案

2018年3月町田市議会 一般質問 諸派 矢口まゆ

2018年3月 町田市議会 一般質問 諸派 矢口まゆ

- 保育所を新たに開園するのは時間も予算もかかる。
- 今後子どもが減っていった時には、使用されない保育施設は無駄な建物になる…。



ベビーシッターに補助を出し、
保育園とベビーシッターを自由選択

とするのはどうか。

0歳児であれば、月額20万円補助を出しても保育園に通う子どもに対する補助額よりも実質少なくなる。(次ページ参照)

児童一人あたりの経費

年齢	月額平均
0才	328,636円
1・2才	162,815円
3才	97,507円
4・5才	81,336円

町田市内の民間の認可保育園

ベビーシッターのメリット

- ・ベビーシッターだと、断然風邪や感染症になりにくい。
- ・時間に融通が利く。送り迎えの時間が不要。通園準備や大きな荷物も不要

保育料金を

いくら支払ってもいい

2,4%

町田市保育料及び保育料のあり方検討報告書より

自分の持ち出しの保育料が上がってしまっても、一定額の補助を出すことで自ら進んでベビーシッターを選択する家庭もあるのでは。

2017年4月の待機児童234人

保育園入所者数は7,328人



約3%がベビーシッターを選択すれば
今の待機児童234人はほぼゼロに！！

保育士の人数が沢山必要な0才から2才にベビーシッター利用が集中するであろうことから、実際には3パーセント以下でも待機児童がゼロになる可能性大。